



m I R a I 通信



～輝く「未来」の中に「伊里」はある～

備前市美術部会の研究授業



13日の3校時、3Bの美術の授業が、備前市教育研修所美術部会の研究授業として公開されました。何やら私的には、甘酸っぱい（苦笑）響きであり、自然と足が美術室の方に向いていました。備前市内より3人の先生が見えられました。

課題は、「中庭にオブジェを！」というワクワクする内容。伊里中の現状を知った上で、どんな学校になっていって欲しいかという願いを、抽象的なデザインとして考えていきます。

この日は、まずアイデアを考え、そのアイデアをみんなが教室の後に集まって、順番に一人一人発表して行きます。身ぶり手ぶりをつけたパフォーマンス的な発表を、と尾堂先生は呼びかけていて、何人かはその期待に応えられていました。そうそう、そうやって表現力を少しずつ身につけていくんだよ。

しかし、教室が広いと後のスペースでこんなこともできるんだなど、羨ましくなります。楽しい授業でした。また身体の中で何かがウズウズしてきました（苦笑）。

いやあ～、何かを作りだすって本当にいいもんですね（宣伝）。



エッセイリスト by 防災担当



日米における避難訓練についての考察

早川 政宏

平成25年4月から3年間、アメリカ合衆国にあるニュージャージー日本人学校で勤務させていただいた。ニュージャージー州は北アメリカ大陸の東部に位置し、ニューヨーク州とはハドソン川を挟んで隣接している。ニュージャージー日本人学校は小中一貫校で、1年生から9年生までの約60名が同じ校舎で学校生活を送っている。赴任1年目、私は7年生（中学1年生）の学級担任を務めると共に、防災（危機管理）教育を担当した。日米の危機管理の違いには驚くことが多く、たいへん勉強になった。そのいくつかを紹介したい。



①火災に関する避難訓練を毎月実施する!!

毎月1回の避難訓練が州の法律で定められており、警報器のブザーを合図に全校児童生徒が校舎外の広場に避難する。1年生と9年生と一緒に避難する様子は非常に微笑ましい光景である。アメリカは火災に関する危機意識が非常に高い。このことは次の②とも関係している。逆に地震に対する危機管理意識は非常に低い。アメリカは滅多に地震が起きないからである。

②警報器が鳴れば必ず!!

9月30日(金)、伊里中学校3年生は高校の先生を招いて高校説明会を行っていた。6校時目、突如、校内に警報器のブザーが鳴り響いた。幸い誤作動であったが、アメリカでは許されない。警報器のブザーが鳴れば、外に避難しなければならない。警報器が非常に敏感で、チョークの粉にも反応する。そして、大きな消防車やパトカーが何台もやってくる。真夏でも消防士さんは頑丈な耐火スーツで身を包み、警報器が鳴った原因を確認する。つまり、誤作動であっても原因がはっきりするまで1歩も校舎内へ入ることができない。原因の確認にはかなりの時間がかかることもあるので、そのまま児童生徒はスクールバスで下校することもある。したがって、教職員は自家用車の鍵を必ず持ち出して避難する。そうしなければ帰宅することができないからである。



③銃社会であるがゆえに!!

不審者対応の避難訓練も年に数回実施する。日本では「刃物を持った不審者が…」という設定で実施することが多いが、アメリカでは「拳銃の発砲音が…」という設定で実施する。刺股など役に立たない。とにかく不審者から身を隠す。避難の様子を地元の警察官に参観してもらい、アドバイスをしてもらう。「通報があれば3分間で我々警察官が現場に駆けつけます。この3分間、何とかして身を隠してほしい。」と言われたことが非常に印象に残っている。教職員は勤務中の携帯電話の保持が必須である。授業中もポケットの中に忍ばせている。緊急事態が起これば携帯電話で連絡を取り合うことになっている。携帯電話の不携帯や充電不足は許されない。アメリカに住んでいる日本人は比較的安全な地域を選んで生活している。しかし、日本人もよく利用するショッピングモール(岡山イオンのような大型店舗)で拳銃を持った犯人が立てこもり警察に射殺されるという事件が起きた。

10月14日(水)、3校園合同防災訓練を実施しました。この訓練は南海トラフ地震を想定したもので、研究者によると30年以内の発生確率は60~70%とされています。つまり、非常に高い確率で発生する可能性があります。今回の訓練を実施するにあたり、多くの方々に協力していただきました。誠にありがとうございました。生徒のみなさんには、「自助」と「共助」の態度を大切に、発生したときには相応しい行動がとれるようにしてほしいと思います。私の拙文を最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

来られたばかりで防災担当、先日は「3校園合同防災訓練」の実施に尽力された早川先生のエッセイ登場です。それにしてもに日米で防災担当とは…恐れ入りました。やはり所変われば、その風土や国民性、歴史など様々な理由から違いが起るものですね、勉強になりました。この文章からわかる通り、早川先生の、その責任感の強さたるやダイヤモンド級！そしてダイヤモンドと言えば野球。野球と言えば早川先生。何と県大会の優勝監督、全国大会出場監督でもあります。本校野球部も早川先制が顧問となって、そのあいさつの声の大きさは絶賛されています。様々な場面でこれからの伊里中をしょって立ってくださる先生です。

久々に「お見事!!」



久しぶりに美しい教室を発見!

ご覧ください、椅子は机の下に完璧に収まり、机の上には何一つありません。無人の教室、しかし整理整頓が行き届いた教室…普段の様子がもの言わぬ教室から語りかけられてくるようです。さすが3年生!

